

みらいのおねんど特別教室

「3Dプリンターでモノづくり」実施報告書

【主 催】 SEIKAクリエイターズインキュベーション推進拠点コンソーシアム
＜精華町・けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク（K-Scan）＞

【後 援】 精華町教育委員会

【開催日時】 2025年9月28日（日曜日）

午前10時～12時 ・ 午後2時～4時

【開催場所】 S E I K A クリエイターズインキュベーションセンター

【開催趣旨】 デジタルねんどで学ぶSTEAM教育

最新のデジタル技術を使ったデジタルモノづくりを体験することで、物事の捉え方や考え方の視野が広げ、21世紀スキルを身に付ける。

※ S T E A M 教育とは

Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、
Art（芸術・教養）、Mathematics（数学）の5つの要素を盛り込んだ
教育手法で、知識や技能を学ぶだけではなく、それらを活用して問題を
解決したり、新しい価値を創造する総合的な学び。

【講 師】 SonoSaki 戸田 かえで ・ 戸田 勝也

【参加対象】 学研都市に居住する小学生（保護者同伴）

【参 加 者】 20組（午前・午後 各10組）

【参 加 料】 3,000円

【広 報】 チラシ配布：精華町立小学校

チラシ配架：精華町役場・図書館

その他：精華町・K-Scanホームページ、精華町観光Instagram

【内 容】 ① CG作成ツール「ZBrush」の基本操作について学習。

練習用の課題をCG制作。

② CG作成ツール「ZBrush」を使って自分の好きな作品を制作。

③ 作品が出来たら、特に頑張った部分を中心にみんなの前で発表。

④ 3Dプリンターについての説明

⑤ 後日、3Dプリンターで作成した作品を講師から送付。

【当日の様子】

- ①CGとはどういうものか、アプリの使い方の説明の後、ペンタブレットでCG作成ツール「ZBrush」を使って練習課題に取組みました。



まずは、ペンタブレットの使い方を練習。



練習課題はペンギンです。
まるいねんどから、土台の作り方
や顔の作り方、羽根の付け方を
教わりました。

- ②基本の練習が終わったら、自分の好きなCG作品づくりに挑戦！



- ③CG製作で工夫したところやこだわりをみんなの前で発表

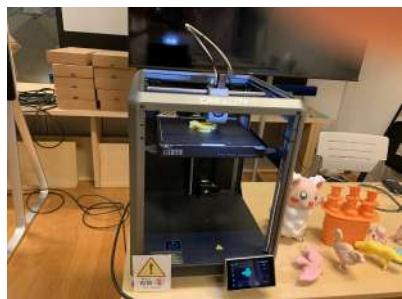


④ 3Dプリンターについての説明

<「科学のまちの子どもたち」プロジェクト>



3Dプリンターの種類や仕組みについて説明。



教室にて、実際に3Dプリンターで作品を出力する様子を見ることができました。

⑤ 3Dプリンターで出力した作品（皆さんのが作成したCG作品をデータで持ち帰り、講師の先生が3Dプリンターで出力後、後日それぞれのご自宅に発送していただきました。）



【アンケート結果】 (20組回答)

このイベントを知ったきっかけは？ (数字は人数)

- ・チラシ (学校から ⑯) ・公共施設等 ③)
- ・精華町HPやSNS ①
- ・その他 ① ()

「デジタルねんどで 3D作品を作ろう」はどうでしたか？

- | | | | |
|-----|---------------|---------------|------------|
| ①作業 | ・簡単すぎた ① | ・ちょうどよかったです ⑭ | ・むずかしかった ⑥ |
| ②説明 | ・わかりやすかったです ⑯ | ・わかりにくかったです ① | |
| ③時間 | ・時間が足りなかつた ⑦ | ・ちょうどよかったです ⑩ | ・時間が余つた ③ |

ワークショップ全体を通じて、どうでしたか？

- ・よかったです ⑳
- ・よくなかったです ①
- ・その他 ①

その理由

- ・3Dデータの概念を理解する貴重な機会となりました。
- ・パソコンで立体的に作るのがなかなか経験できないので良かった。
- ・先生も感じのいい方で、質問しやすくて楽しめました。
- ・はじめて体験できたから。
- ・時間もあつたし、おもしろかったです。
- ・楽しく作業することができました。
- ・この教室をもっとしてみたいと思えたので。

その他、お気づきになられた点、感想等をご自由にご記入ください。

(本人)

- ・3Dプリンターで立体的に作品を作るのがむずかしかったです。なぜなら片方にしあつけたくないのに、反対側にもついたり、三角を作るのがむずかしかったり、鉛筆で簡単にできることが簡単にできなかつたからです。
- ・みらいのおねんどを知れて勉強になかつておもしろかったです。
- ・パソコンの操作がむずかしかったけど楽しかった。かわいく作れて良かった。
- ・みらいおねんど教室があつたらまた来たいと思いました。次は大きいものを作つてみたいと思いました。
- ・楽しかつたです。大きさなどを自由につくれて楽しかつたです。また来たいです。
- ・家に送られてくるのが楽しみ。シュモクザメが作れてよかったです。
- ・3cmぐらいのを作るので1時間かかるのが分かった。
- ・もうちょっと練習したかった。
- ・パソコンやタブレットを初めて使用したけれどやさしくしてくれて楽しくできました。

(保護者)

- ・子どもの技術や習熟度に柔軟に合わせられる課題設定である点がよかったです。指導も優しく楽しくしていただいたので、子どもが大変よろこんでいました。デジタル技術に関心を持つ良いきっかけになったと思います。
- ・このイベントがあることを知らなかったけど参加してとても楽しかった。周りの人にも伝えたいので告知をもっとしてほしいと思います。
- ・最初は完成するのか心配になりましたが、先生のおかげで楽しく作業できました。もう少し時間があればと思うぐらい夢中で取り組みました。
- ・非常に良い経験になりました。3Dプリンターはよく聞いたりTVで見たりする機会はあるものの実物を見るることはなかったので感動しました。
- ・コツをつかむまで少し難しいと思いましたが、講座の終盤では徐々に慣れてきました。
- ・少し難しい場面もありましたが、フォローしていただき何とか完成できました。
- ・大人でも初めてのこと難しく子供に教えることができなかつたです。
- ・1年生なのでパソコンの作い方が難しそうでした。また4年生ぐらいになったらやらせてあげたいです。
- ・製作に慣れていないので難しかったようですが、このような機会を持てたのは良かったと思いました。
- ・PCを上手に使えてたと思います。楽しそうなソフトなので家でもできたらと思いました。
- ・少し作業が難しそうで、大変そうでしたが、集中して頑張っていたので良かったです。
- ・自由に考え、作って表現し、発表までさせていただき良い機会でした。
- ・子供が集中して楽しそうにしていました。
- ・貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。
- ・家では出来ない事を体験出来て良かったです。

科学に対する関心度を教えてください。

- ・とても関心がある ⑤
- ・関心がある ⑩
- ・どちらともいえない ③
- ・あまり関心がない ①
- ・まったく関心がない ①

今回のイベントのように精華町では、みらいを担う子どもたちに、学研都市にふさわしい学びの機会を提供する「科学のまちの子どもたち」プロジェクトの取り組みを行っています。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- ・良い取り組みだと思う ⑫
- ・学研都市にふさわしい ⑤
- ・今後も継続してほしい ⑬
- ・精華町の子どもたちは恵まれていると思う ⑧
- ・このプロジェクトを知っていた ③
- ・このプロジェクトを知らなかった ③